

# *Portfólio*

*Mei Saíto*

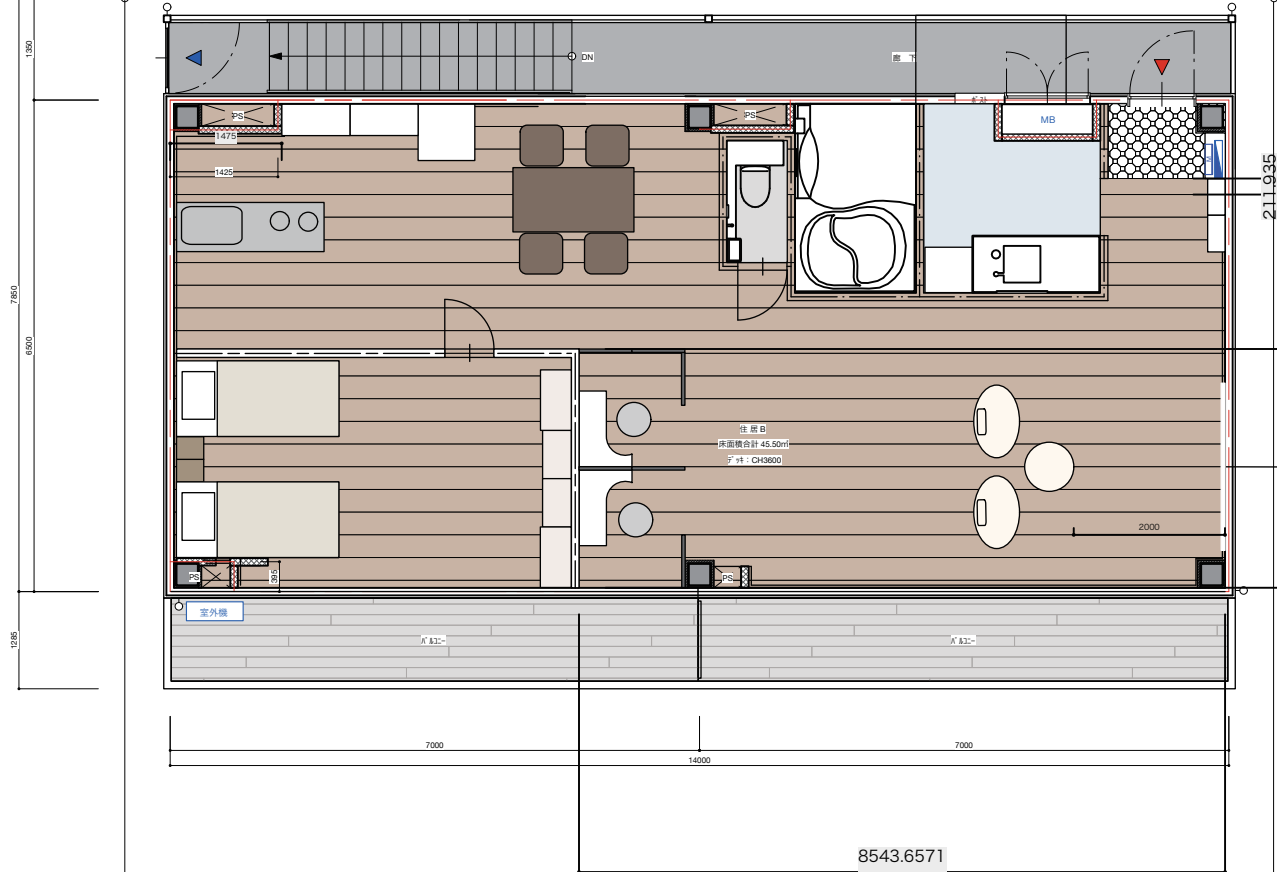
# Self Introduction



Name	Mei Saito
Age	18
Live	Tokyo
Affiliation	Interior Design Student
Hobby	Cafe Tour , Read Books
Favorite Interior	Natural , Simple

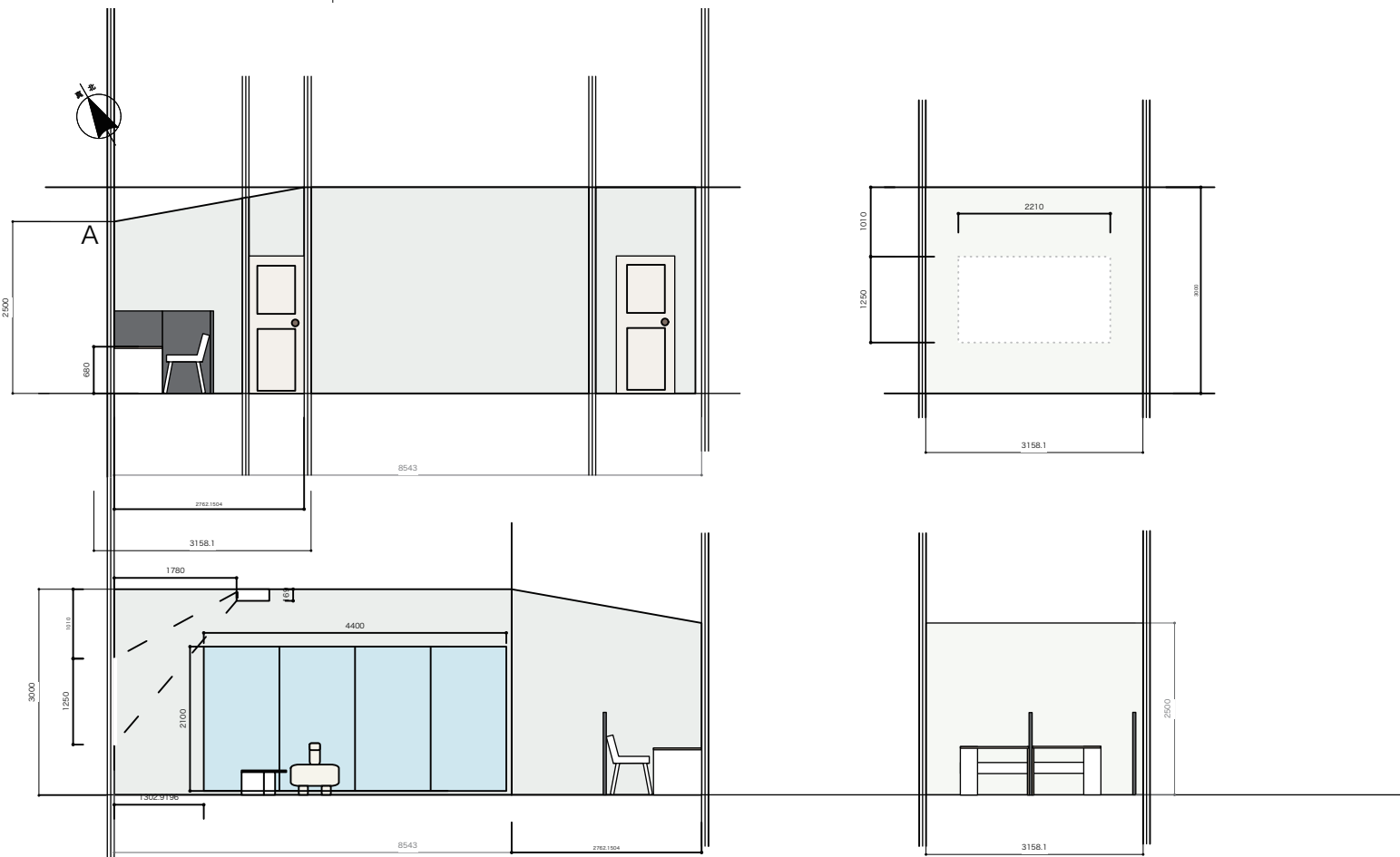
自身で考える、私の一番の強みはコミュニケーション能力です。幼い頃から人と話すことが好きで、小学生の頃から沢山の習い事やボランティアに挑戦したり、中学・高校時代では委員会や部長や、文化祭の責任者など指揮をとるような役職に積極的に活動していました。現在は約1年間100均でアルバイトをしています。

自発的にさまざまな人と関わるように心がけている自分だからこそ、顧客ひとりひとりの好みやニーズに合わせたデザインの提案ができるのではないかと思います。また、要望に沿った上で自分だからこそ提案できる、より快適でリラックスした環境を表現したいです。



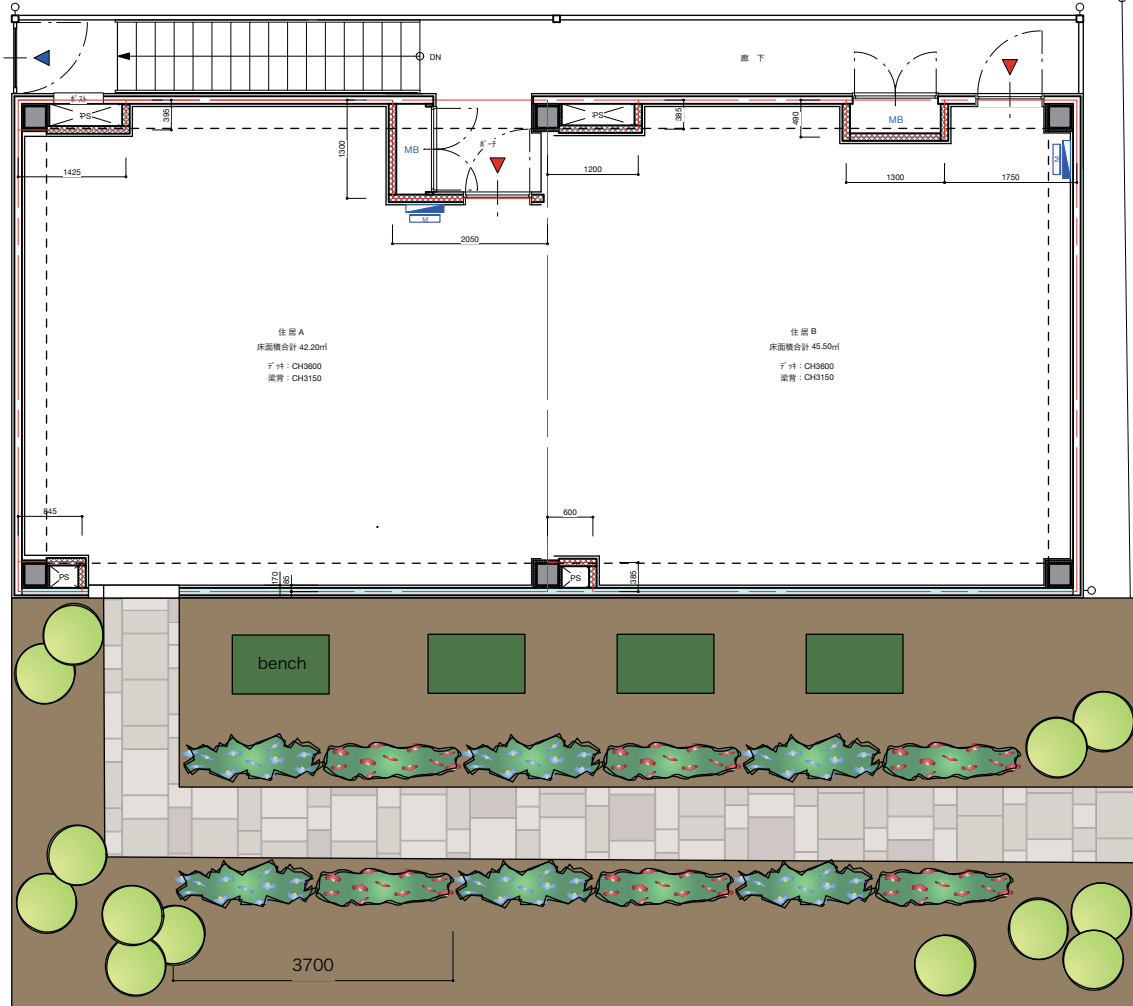
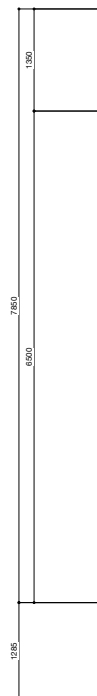
住宅 PLAN 用

TITLE	TYPE	SCALE	DATE	DRAWING	CHECK	NO.
住宅・ショップ・ギャラリー 共通課題	2F 平面図 (住宅) 1階カ-ス+含む	1/50				02



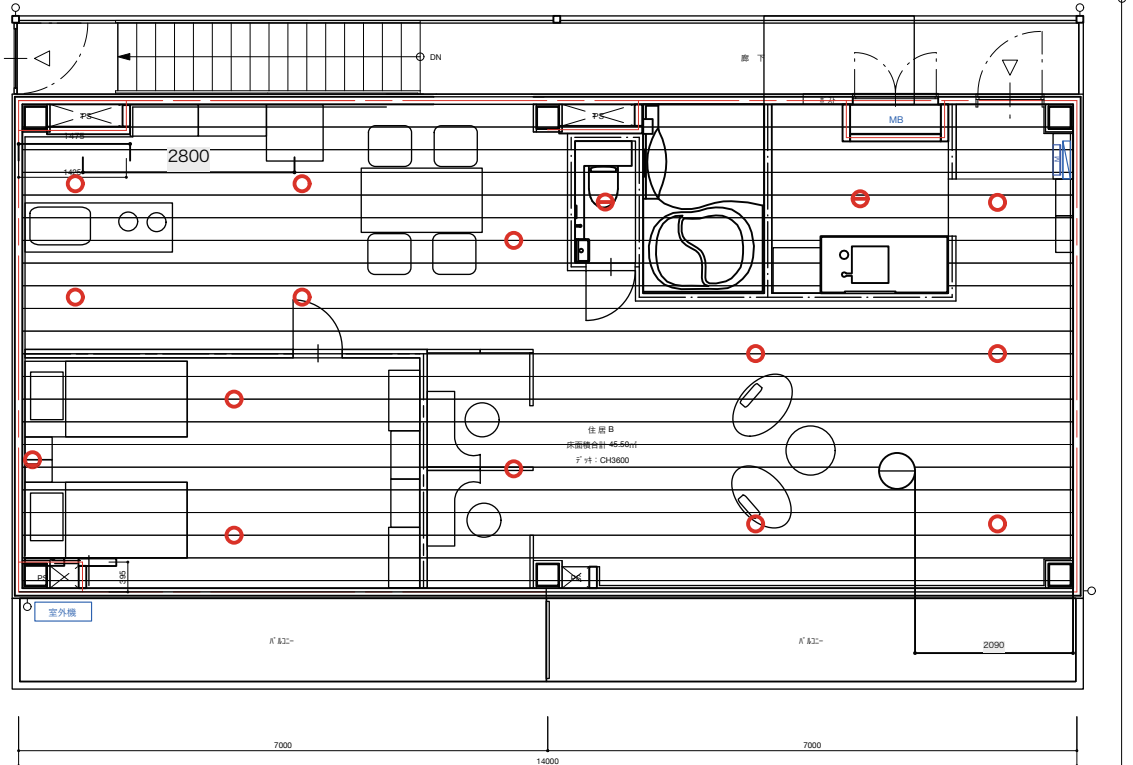
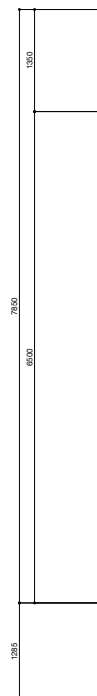
住宅 PLAN 用

TITLE	TYPE	SCALE	DATE	DRAWING	CHECK	NO.
住宅・ショップ・ギャラリー 共通課題	2F 平面図 (住宅) 1階カ-ス+含む	1/50				02



住宅 PLAN 用

TITLE	TYPE	SCALE	DATE	DRAWING	CHECK	NO.
住宅・ショップ・ギャラリー 共通課題	2F 平面図 (住宅) 1階クースス含む	1/50				02

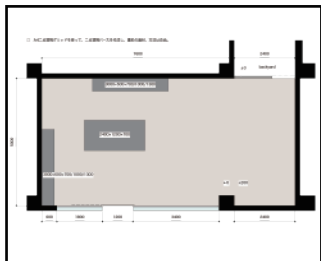


住宅 PLAN 用

TITLE	TYPE	SCALE	DATE	DRAWING	CHECK	NO.
住宅・ショップ・ギャラリー 共通課題	2F 平面図 (住宅) 1階クースス含む	1/50				02



# Natural Brown

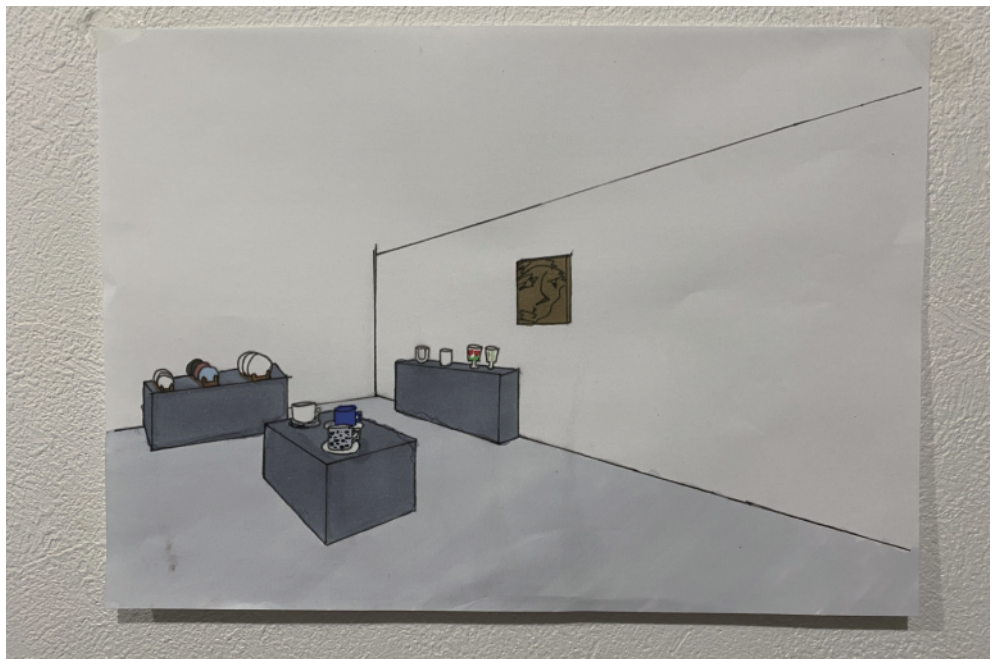


S=1/100

## デザインのポイント

客層は10代から30代、今人気な韓国の食器を扱っている店がテーマ。個人的に韓国食器を集めているため理想も兼ねてこのテーマに。とにかく食器が目立つように控えめな色を使った。一つ置いてある絵は、私の家に実際に飾ってあるポストカードで少し個人的なものをワンポイントにした。(今回全てオンライン授業だったため、手書きが全くできない私は、これが限界でした。)

今コロナの影響で選航ができないので、少しでも韓国のおしゃれなセレクトショップの雰囲気をも日本でも味わって貰いたい。個人的には、もっとスキルアップしているんな小物やインテリアをこの空間に置きたいと思った。



# 光を求めろ

Escape from one's worries

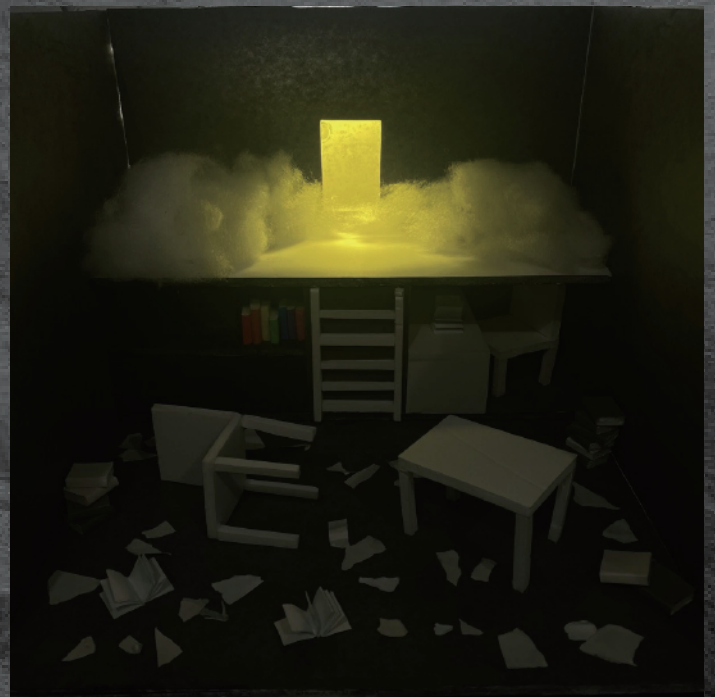
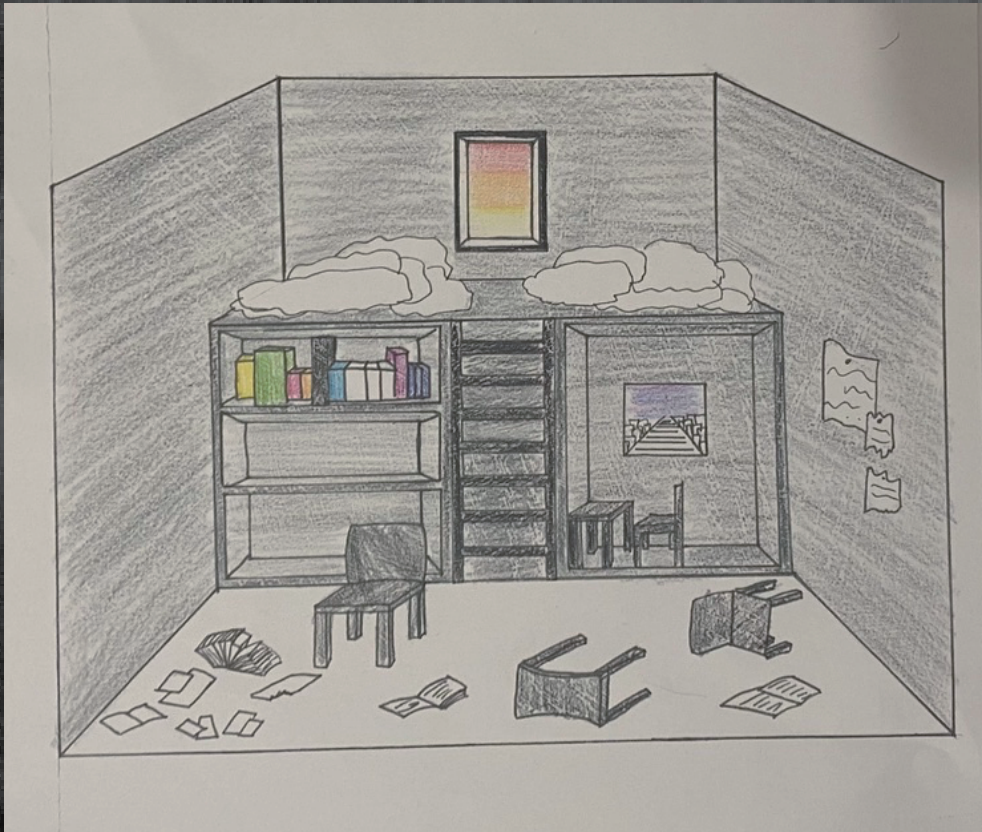
ID1-a 齋藤 萌衣

## Concept

どんな人間でも、生きていく上で必ず「悩み」を持ち、あまりにも辛い時は「逃げ出したい」「現実逃避したい」と感じる。この作品は、物事が思うように行かず孤独になって悩みこみ、悩ましい日々から「脱出したい」「逃れたい」という心情を空間で表した。

当作品にはゴッホの技法を用いている。ゴッホは「見たまま、感じたままを描く」ことを重要視していた。そのことを意識し、模型には「自分に向き合い解決につなげるための葛藤」「自分の悩みに苦しめられるもどかしさ」「悩みのない世界へ導いてもらいたいという願い」これら3つの感情を重点に置き、一つの空間で完結させた。

# Design



# 荒廃

～人工物をも飲み込む 自然の力～

ID1a 齋藤 萌衣

「境界」から得た、自身のテーマ

自然 × 人工

設置場所

博物館、美術館などの入り口前



美術館などの建物は普通の場合より静かで少しの緊張感がある。

この‘境界’を通ることにより、訪れる人の心持ちが変わるのではないか。



# 問題点

どこまでが自然で、どこまでが人工なのか  
ボーダーラインを付けにくい



自然



人工

共存している

この違いは、人間が意識して作ったかどうかの鍵となる。

いちばん大事なことー養老教授の環境論（集英社新書）より

## イメージ写真



デザイン画（模型なし）



憩いを求めて ～足湯がある空間～

Id1-a 齋藤 萌衣

## コンセプト

上層階から景色を見ながら足湯に入り、心も体もリラックスできるような憩いの空間を作った。

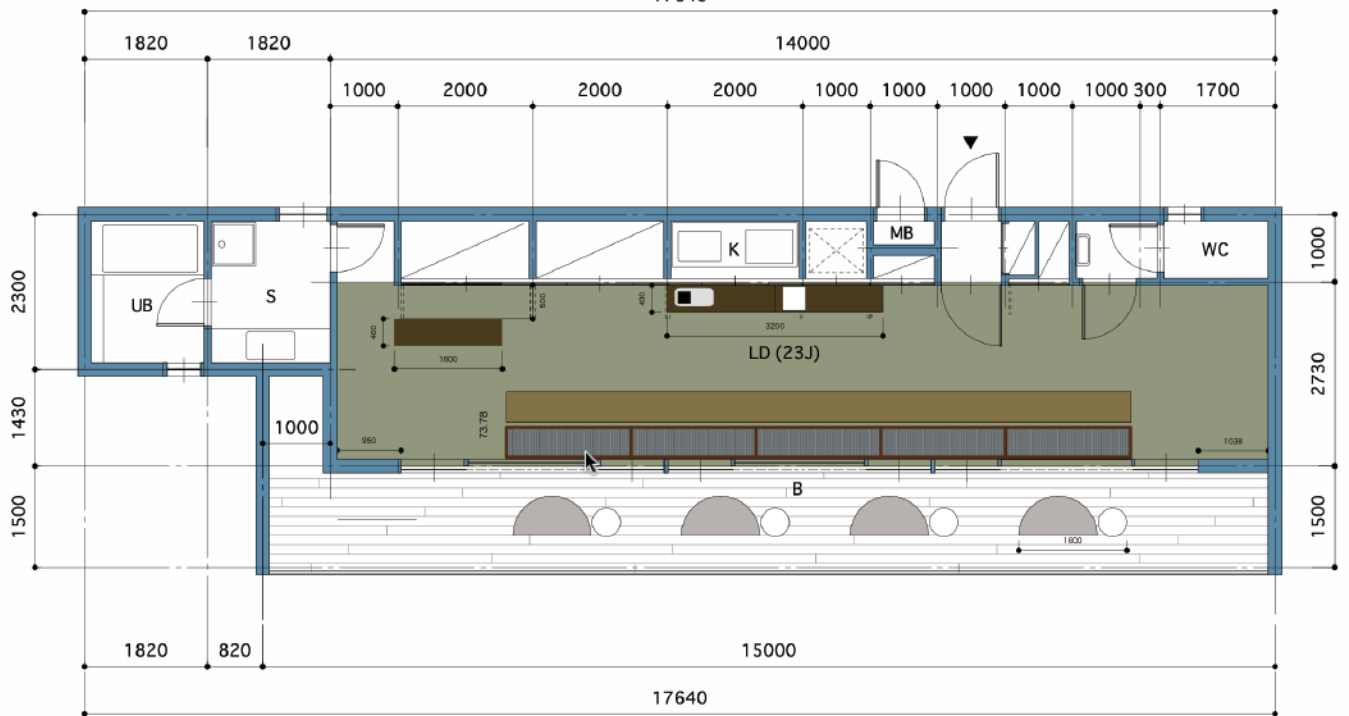
足湯は、足先の血管を広げ、血の巡りをよくし、体全体を温める効果があるので、どんな人でもリラックスでき、死の疲れを解消することができる。またこの足湯はセラミック足湯というお湯に入らない足湯で遠赤外線により体の芯から温めることができる。窓際に足湯とベンチを設置しているので景色を見つつ足湯を楽しむことができる。また、テラスにはソファ席があるので、天気の良い日にはテラスでのんびり過ごすことができる。

この空間は食事はできないがワンドリンク制となっている。ドリンクを片手に日常から少し距離を置き、のんびり過ごせる。

全体的にナチュラルな雰囲気にしつつ、装飾などで和が感じられるようなナチュラルモダンな雰囲気にした。

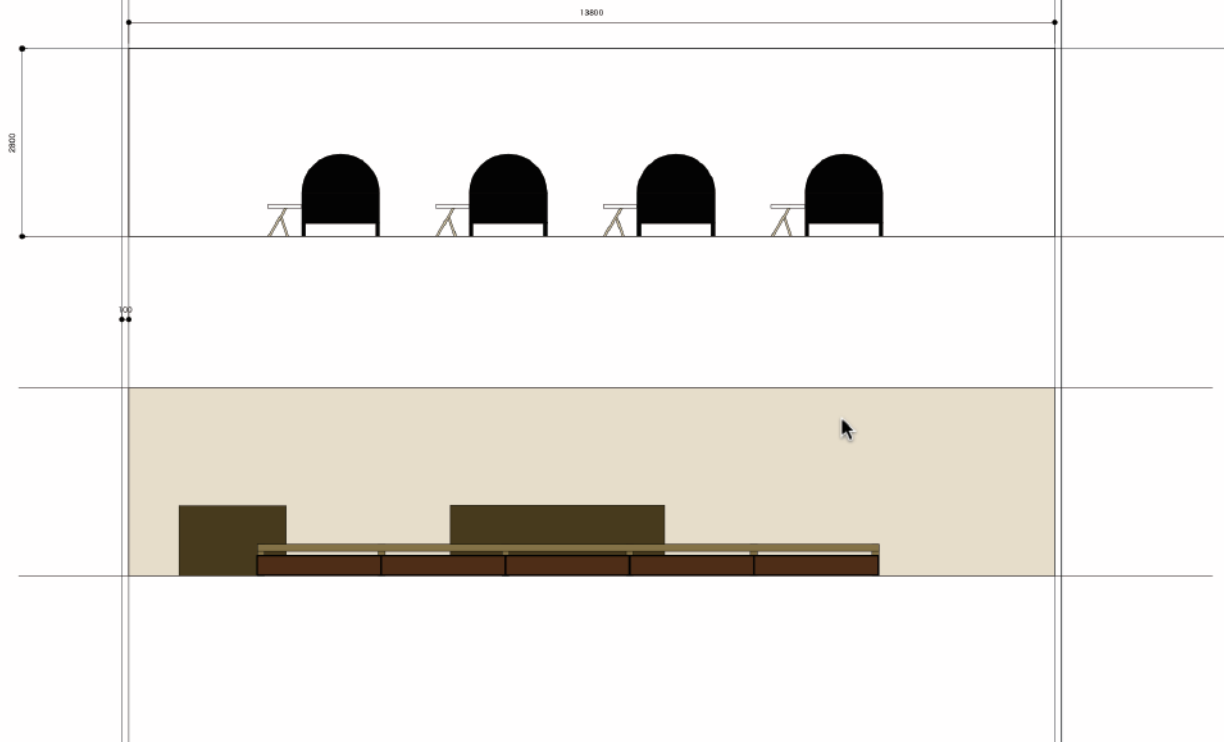
## 平面図

17640



DEPARTMENT OF INTERIOR DESIGN

# 展開図



DEPARTMENT OF INTERIOR DESIGN



TOKYO DESIGNER GAKUIN COLLEGE  
東京デザイナー学院  
DEPARTMENT OF INTERIOR DESIGN

TITLE

図面タイトル

DESIGNER

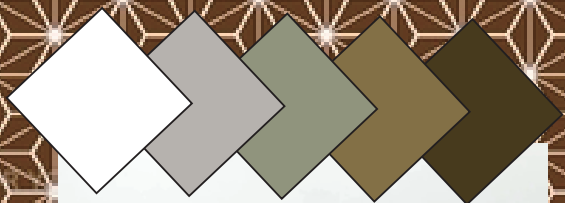
SCALE

DATA

TOKYO DESIGNER GAKUIN COLLEGE

NO.

スクリーンショット



セラミック足湯 暖暖ふっと 5人用



# A House BY The Beach



Saito Mei

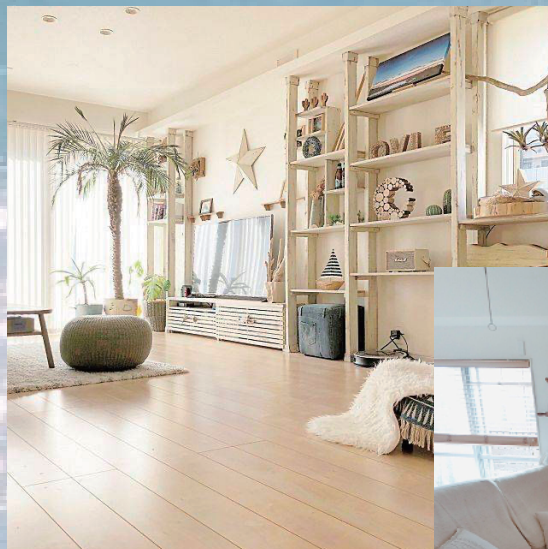
コンセプト 西海岸スタイル

家族構成 父親 母親（それぞれ30代） 息子（10代、小学校高学年）

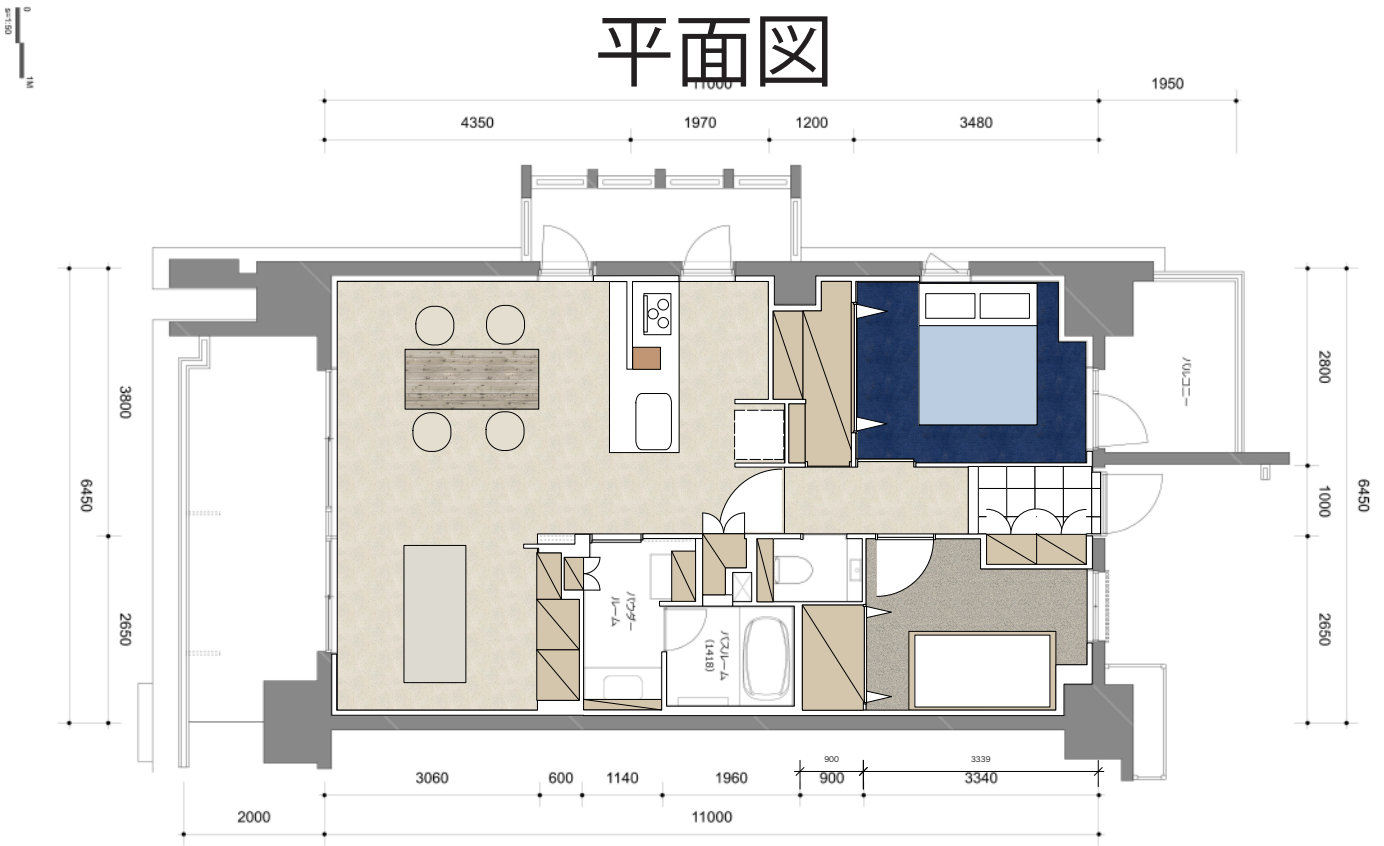
場所 江東区豊洲

ライフスタイル 規則的

家族の趣味 海辺までドライブ



# 平面图



## Living Room



**DUCA**



**danis short arm hair**



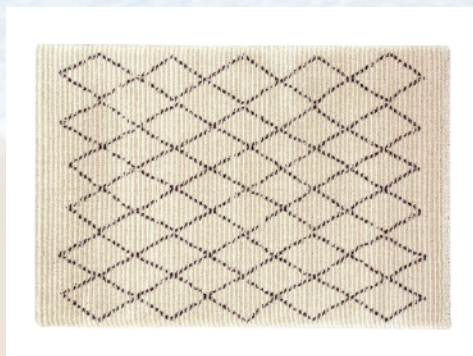
**Ceiling Fan**



**Clock**



**FARGO Omi Sofa**



**RUG**



**Curtain**

# Kids Room

スピーカー付ダウンライト



**Light**



**Curtain**



**Loft Bed**



**Re:PET boarder Rug**

# Bed Room



**Bed**



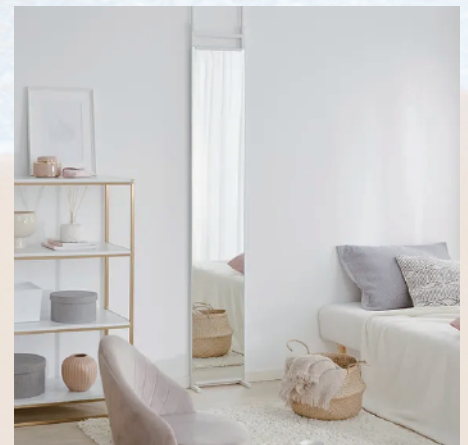
**Turtle**



**Flame**



**Curtain**



**Miller**



# White Christmas in the snow

## THEMA

- ・ 10代後半から20代前半の女子
- ・ パーティー会場（クリスマスパーティー）
- ・ とにかく写真映えするキラキラした場所

## Key Word

**White , Gold , Silver , Snow , Light , Twinkle**



白とグレーがメインでベージュや茶色を差し色にした。床は白のラグやクッションやブランケットを置き、まるで雪が積もったような様子を再現。  
ツリーや壁面にはライト、装飾のインテリアもあかりが灯る物を置く取り入れた。  
赤や緑のイメージが強いクリスマスだがこのような配色にすることでより神聖で静かな雰囲気仕上げた。





## POINT

### 小物で遊ぶ

①ではカラフルなわたでできている小物だ。自分たちで作成することも出来そうなので好みに合ったものを飾ることができる。

②は紙で作ったオーナメントや壁面の装飾だ。写真のようなしろや淡いベージュはテーマとマッチしている。

③は壁面に小さな棚を三角形に設置し、クリスマスにまつわるインテリアを置いている。写真はクリスマスのメインカラーである赤と緑のもので統一しているが、コンセプトに合わせて、ゴールドや白の小物を置きたい。



# The Secret Garden

## 王宮からの招待状

沢山の花に囲まれた屋内ピクニックがメインのパーティー。

ターゲットは10代以上の女性。少人数からグループまで楽しめる場に仕上げた。

近年流行となっている「ピクニック」と女性の誰もが憧れる優雅な雰囲気が出される

「アフタヌーンティー」を融合した。

## Place

屋内ピクニック最大の利点は天候に左右されずに開催できること。

そのため室内でもいかに庭園らしく豪華な雰囲気にするかが重要視される。

まるで屋外でピクニックをしているような雰囲気が出るよう、

室内用の芝生シートやドライフラワーや観葉植物で装飾する。

Main Thema Picnic Afternoon Tea

Material Flower Lace

Thema Color White Gold Pink(Main Point)



# Image Photo



*picnic*



**This!!!**



*Afternoon  
Tea*

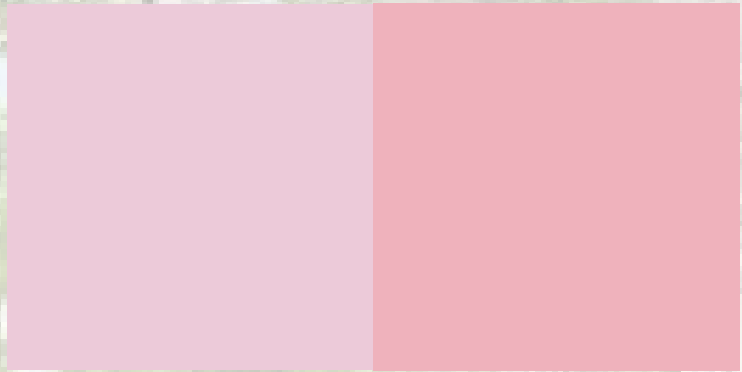


# Main Point

## ピンクの使い分け

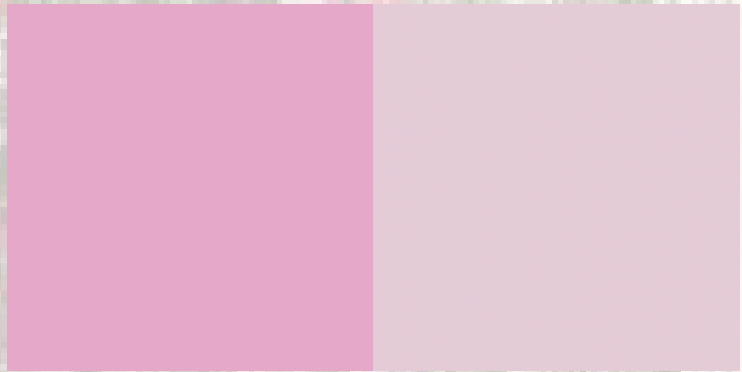
10代

いちごみるく  
×  
メルティピンク



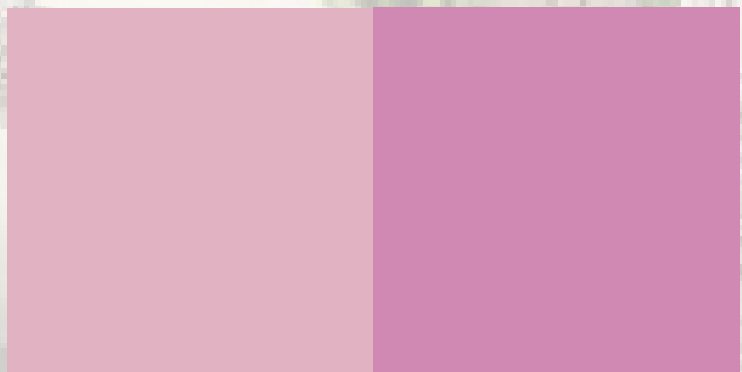
20代

ガールズピンク  
×  
シルキーピンク



30代～

チェリーブLOSSAM  
×  
クラブピンク



# Table Coordinate



# Surrounded by Sweets



Id1-a

齋藤 萌衣

ある森のそばに貧しいきこりの夫婦とその子であるヘンゼルとグレーテルが暮らしている。貧しかった一家は、ある時から食料が手に入らなくなり、どうしようもなくなったため、母親が父親に子供たちを捨ててくるよう提案した。その会話を聞いて家に帰ってこれるよう石を集めて森の奥深くまで連れて行かれる際に位置を落としながら進みその石を辿って帰ってこられるようにしていたが、ある日石を集めることができずパンを道標に落としていったが鳥に食べられてしまい、家に帰ることができなくなってしまった。そんな中数日経って森の中で見つけたのは、お菓子でできた小さな家だった。

童話「ヘンゼルとグレーテル」で魔女が居座るお菓子の家は幼少期多くの人が憧れを抱いただろう。そんなお菓子の家のフォトスペースを模型で再現した。模型の大元になるスチレンボードを覆うように粘土でお菓子部分を表現した。屋根部分は柔らかめの粘土でクリームが垂れているように表現し、型抜きで作ったクッキーの素材や樹脂粘土で作ったいちごやキャンデー、市販のお菓子のパーツを散りばめた。壁面は長方形のクッキーを均等に並べた窓から顔を出せるようにしそこでも写真が撮れるようにした。入り口部分はクリームに見立てた白の粘土で道を作り、周辺には樹脂粘土で作ったアイスクリームとホイップクリームをつけてデザートプレートのように盛りつけた。

真下の写真は5年前の2016年、ヒルトン東京の「マーブルラウンジ」でヘンゼルとグレーテルの世界観を表したデザートフェアのイメージ画像だ。お菓子の家をメインに物語をイメージするデザートや食事が並んだ。

このお菓子の家の屋根部分、壁面の装飾部分、入り口周辺の装飾を模型製作の際に参考にした。



ひっそり暮らす、8人の小人たち

## 作品作品の経緯

今回「見立てる」ことを使った私の作品のコンセプトは、「もし自分の部屋に小人が住んでたら」という想定で作成しました。部屋のデスク横に置いていたクリアの棚の下のスペースを、小人の部屋にしたらどうだろうかと思いドールハウスをイメージして作成しました。小屋のデザインは、ディズニー「白雪姫」に出てくる7人の小人の家をイメージして作成しました。





The background is a solid light pink color. In the top right corner, there are two overlapping circles: a grey one on top and a yellow one on the bottom right. In the bottom left corner, there are two overlapping circles: a yellow one on top and a green one on the bottom left.

*Thank you for watching*